

U.S. Indicators

発表日: 2023年10月10日(火)

米国 9月雇用統計は労働市場逼迫の鈍い緩和を示唆

～非農業部門雇用者数が前月差+34万人に加速も平均時給は前年比+4.2%に鈍化～

第一生命経済研究所 経済調査部

主任エコノミスト 桂畑 誠治(Tel:050-5474-7493)

23年9月の非農業部門雇用者数(事業所調査)は、前月差+33.6万人(8月同+22.7万人)と加速し、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の前月差+17.0万人(筆者予想同+20.8万人)を上回った。民間部門が前月差+26.3万人(8月同+17.7万人)と加速し、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の前月差+16.0万人(筆者予想同+19.6万人)を上回った。

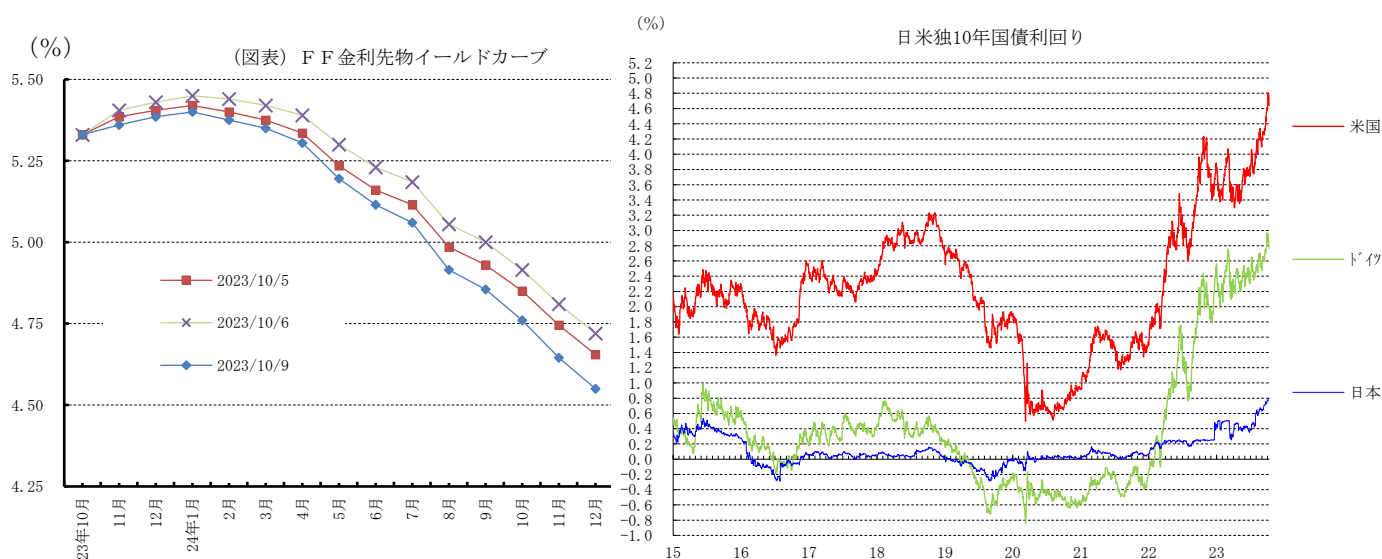
民間部門では、堅調な需要や人手不足の続く医療・社会援助が大幅な増加を続けたほか、家計・企業活動の底堅さを映じて、飲食店、専門・技術サービス、小売業、芸術・エンターテインメント・余暇、製造業、宿泊、卸売業、建設業等が高い伸びとなった。

また、非農業部門雇用者数は、7、8月合計で11.9万人上方修正されたこともあり、3ヵ月移動平均で前月差+26.6万人(前月同+18.9万人)、6ヵ月移動平均で同+23.4万人(前月同+21.4万人)と比較的高い水準に再加速した。基調としては21年8～11月をピークに減速傾向を辿っているものの、堅調な増加ペースを続けている。また、労働投入量は3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率で+1.5%(前月+1.4%)と拡大モメンタムを強め、労働需要が再び強まったことを示した。

一方、失業率(家計調査)は3.8%(前月3.8%)と変わらず、市場予想中央値(ブルームバーグ集計)の3.7%(筆者予想3.6%)を上回った。ただし、依然として自然失業率である4.0%を下回る低い水準にとどまっている。また、平均時給は、前月比で+0.2%(8月+0.2%)と市場予想中央値の同+0.3%を下回り、前年同月比でも+4.2%(8月同+4.3%)と高い伸びながら低下し、市場予想中央値+4.3%を下回った。

以上のように、9月の雇用統計では、非農業部門雇用者数が予想を上回り、堅調なペースに再加速したことが確認された。また、労働需要は再び強まった。一方、失業率は依然低い水準ながら横ばいとなったほか、自発的失業率は高い水準だが低下した。また、平均時給の伸び率は、高い伸びだが前年比で小幅鈍化した。以上より、労働市場逼迫の緩和は継続しているものの、非常に緩やかなペースにとどまっていると判断される。

金融政策については、米経済成長が7-9月期に大幅に上振れたと予想されるなか、労働市場の逼迫が緩やかな緩和にとどまり、コアインフレの鈍い低下が続いているとみられるが、市場金利の大幅な上昇が継続すれば、その影響を慎重に見極めるため、FRBは11月のFOMCで政策金利を据え置くと予想される。ただし、コアインフレの鈍い低下、経済成長の上振れ等を背景に、追加利上げの可能性を維持する公算が大きい。



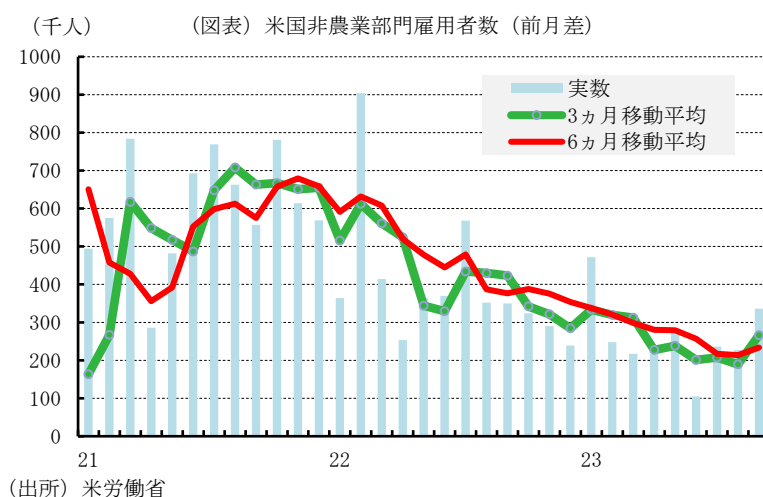
米国雇用統計

	失業率	非農業部門雇用者数							平均時給		労働時間	労働投入量		
		全体	製造業	建設業	サービス関連業			政府	前月比	前年比		前月比	年率※	
					全体	小売業	狭義サービス							
		前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差	前月差						
四半期	21.1Q	6.2	618	24	13	582	39	402	68	1.0	4.9	34.8	0.9	3.6
	21.2Q	5.9	487	2	2	481	8	379	41	1.2	2.3	34.9	1.2	5.0
	21.3Q	5.1	663	54	24	584	16	437	25	1.4	4.5	34.8	1.3	5.2
	21.4Q	4.2	655	49	41	560	20	430	▲6	1.5	5.3	34.8	1.6	6.5
	22.1Q	3.8	561	44	33	481	59	317	6	1.4	5.6	34.7	1.0	4.1
	22.2Q	3.6	329	34	19	270	▲25	219	12	1.1	5.6	34.6	0.7	2.8
	22.3Q	3.5	423	33	16	373	12	284	42	1.2	5.3	34.6	0.8	3.3
	22.4Q	3.6	284	19	21	240	▲8	203	31	1.1	4.9	34.5	0.5	1.9
	23.1Q	3.5	312	1	10	299	17	190	78	1.0	4.5	34.5	0.6	2.4
	23.2Q	3.5	201	3	22	174	▲1	138	28	1.1	4.4	34.4	0.0	0.0
	23.3Q	3.7	266	9	20	237	11	143	71	1.0	4.2	34.4	0.4	1.5
月次	2301	3.4	472	11	26	431	22	252	119	0.3	4.4	34.6	0.8	1.8
	2302	3.6	248	3	14	230	48	139	55	0.3	4.7	34.5	▲0.1	1.6
	2303	3.5	217	▲12	▲9	236	▲19	178	60	0.3	4.3	34.4	▲0.2	2.4
	2304	3.4	217	9	11	192	▲2	144	38	0.4	4.4	34.4	0.1	1.3
	2305	3.7	281	▲4	25	257	21	170	26	0.3	4.3	34.3	▲0.1	0.2
	2306	3.6	105	4	29	73	▲23	100	19	0.4	4.4	34.4	0.3	0.0
	2307	3.5	236	▲2	12	224	13	98	91	0.4	4.3	34.3	▲0.2	0.3
	2308	3.8	227	11	36	180	0	145	50	0.2	4.3	34.4	0.4	1.4
	2309	3.8	336	17	11	307	20	186	73	0.2	4.2	34.4	0.2	1.5

9月の非農業部門雇用者数（事業所調査）は、前月差+33.6万人（8月同+22.7万人）と加速した。政府部門が前月差+7.3万人（8月同+5.0万人）、民間部門が前月差+26.3万人（同+17.7万人）とともに増加ペースを速めた。民間では、堅調な需要や人手不足の続く医療・社会援助が前月差+6.59万人と引き続き最大の増加となったほか、飲食店（同+6.07万人）、専門・技術サービス（同+2.90万人）、小売業（同+1.97万人）、芸術・エンターテインメント・余暇（同+1.93万人）、製造業（同+1.7万人）、宿泊（同+1.56万人）、卸売業（同+1.17万人）、建設業（同+1.1万人）が需要の

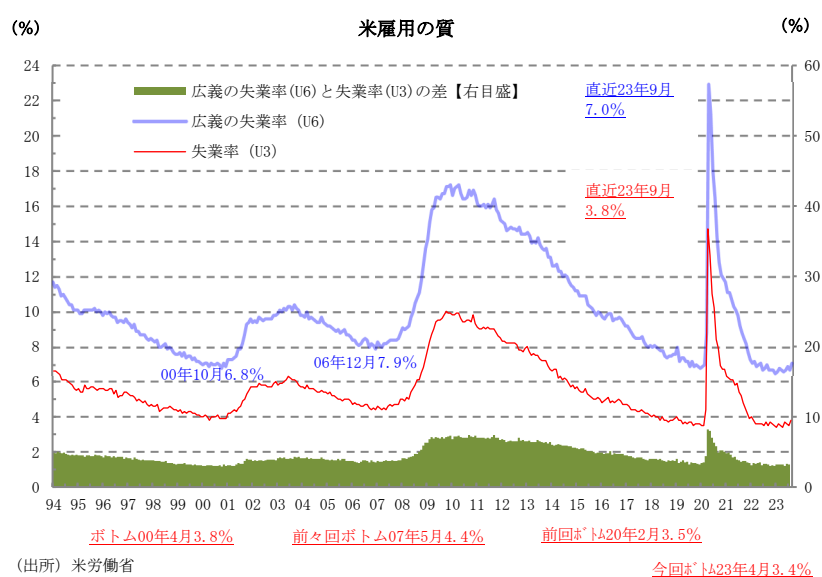
拡大を受け高い伸びとなった。また、輸送・倉庫（前月差+0.86万人）、不動産・リース（同+0.57万人）、教育サービス（同+0.43万人）、その他サービス（同+0.4万人）、保険（同+0.39万人）が増加した。

一方、減少した業種では、情報産業が前月差▲0.5万人、製造業の調整の影響を受け易い派遣業が前月差▲0.42万人と小幅減少した。また、米中堅銀行破綻の悪影響が懸念される商業銀行は前月差▲0.19万人と小幅減少した。

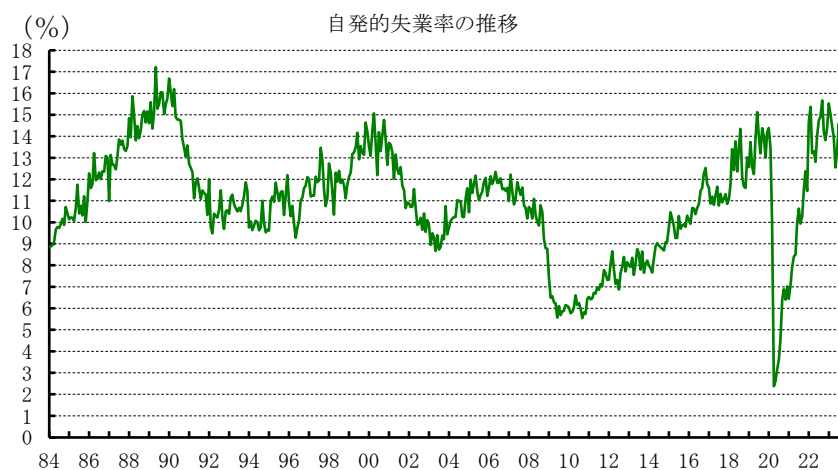
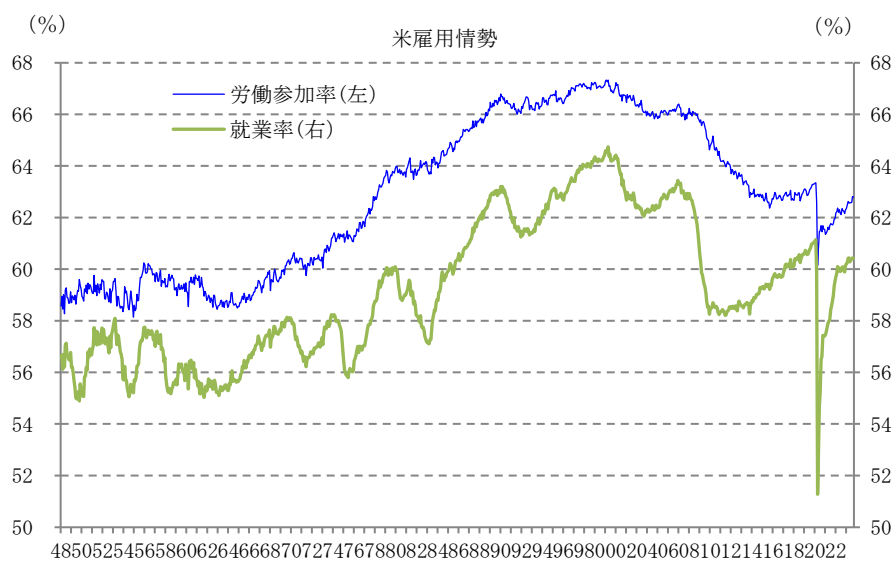


9月の失業率（U3、家計調査）は、3.8%（前月3.8%）と変わらずとなったが、自然失業率と推測される4.0%を依然下回っている。一方、“現在は職探しをしていないが過去1年間に求職活動を行った人”と“正規雇用を探しているがパートタイムで働いている人”も失業者を含む広義の失業率（U6）は、7.0%（前月7.1%）と低下し、低い水準にとどまっている。

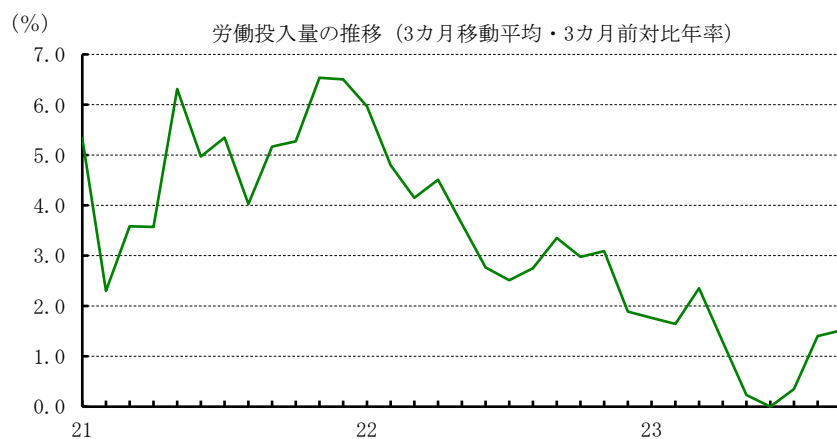
また、労働市場の好調な時に上昇する自発的失業率は、12.5%（前月12.6%）と小幅低下したものの、高い水準を維持しており、労働環境が引き続き良好なことを示した。



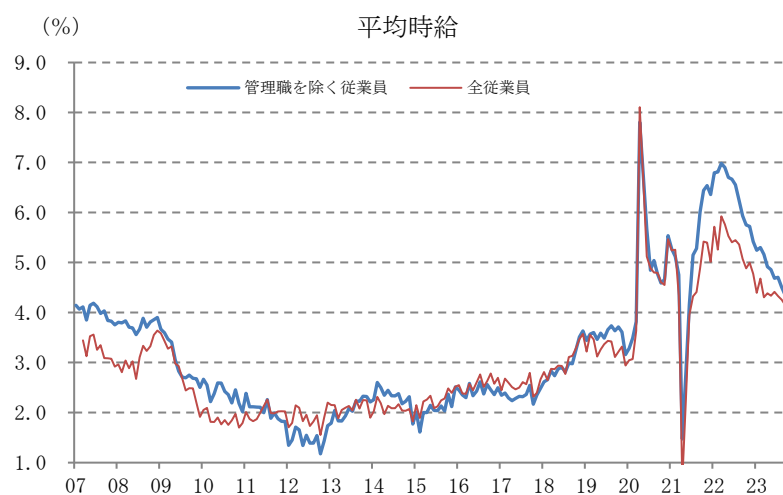
(注) U6：通常の失業者に加えて、正規雇用を探しているがパートタイムで働いている人や過去1年間に求職活動を行った人を失業者としてカウント

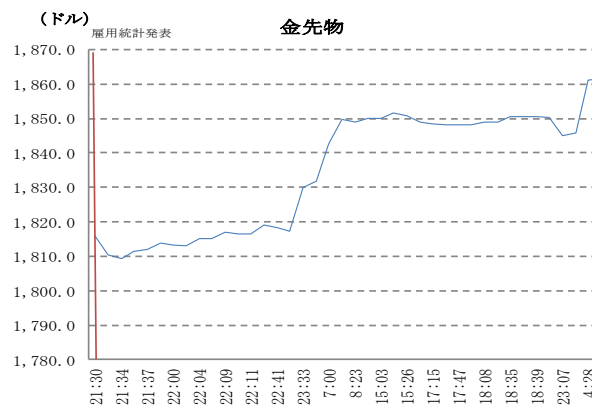
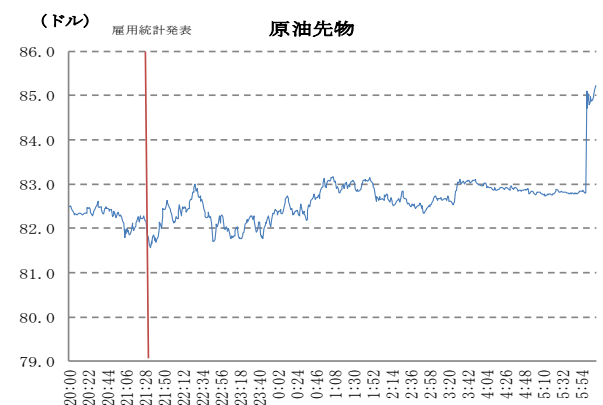
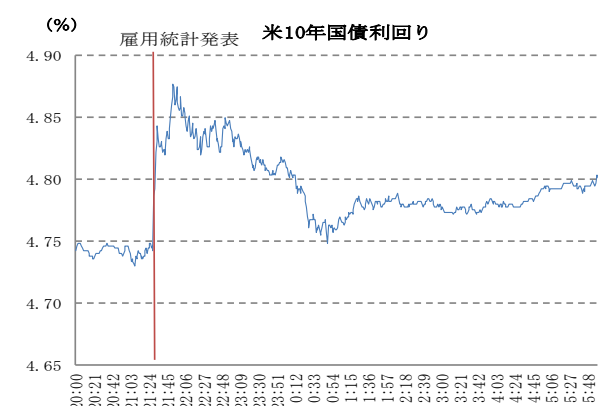
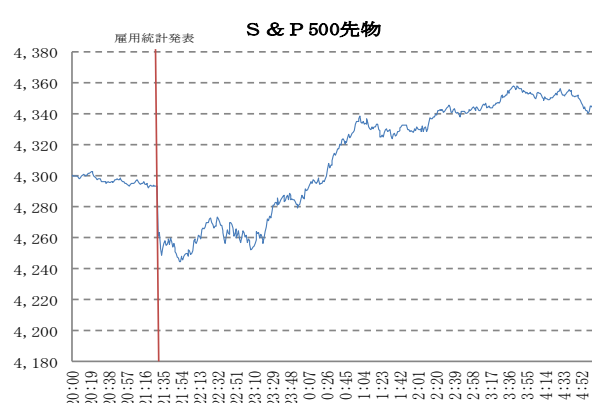
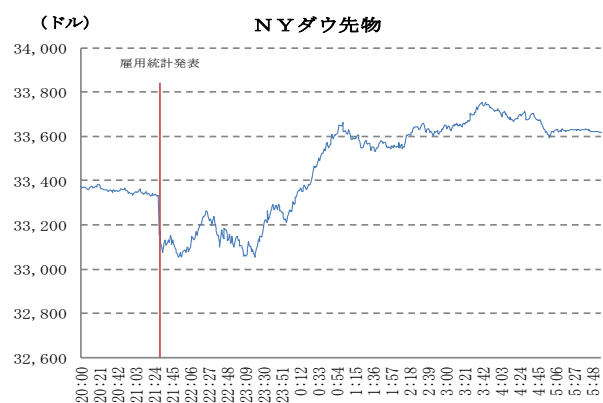
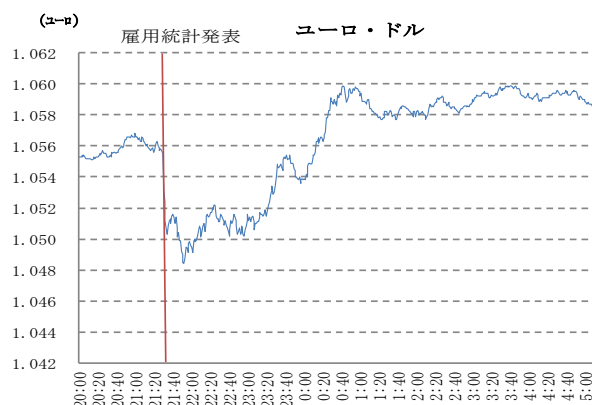
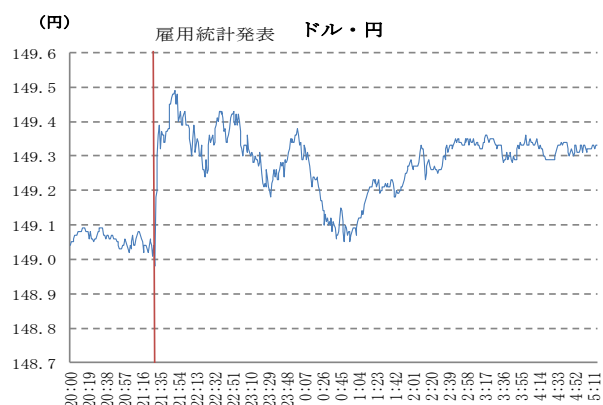


労働投入量は、9月に前月比+0.2%（8月+0.4%）と鈍化したが、3カ月移動平均・3カ月前対比年率で+1.5%（前月+1.4%）と小幅加速しており、労働需要が再び強まっている。



このような中、平均時給は、前月比+0.2%（前月+0.2%）と市場予想の+0.3%を下回り、前年比でも+4.2%（前月+4.3%）と市場予想の+4.3%を下回った。平均時給は22年3月の前年同月比+5.9%をピークに低下傾向を辿っているものの、上昇率が依然高く一部のサービス価格を押し上げ、コアインフレの鈍い低下の一因となっている。





本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

